
ありがとう...

桜実保乃佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありがとう…

【Nコード】

N0248M

【作者名】

桜実保乃佳

【あらすじ】

組織の戦いで死んでしまった新一「コナン」…
志保が新一「コナン」の命日に呟いた言葉とは？

私は今、墓場に居る…

お墓には

『工藤家』

と書かれている…

そう、工藤君のお墓

彼は組織の戦いで命をなくした

私のせいで

ジンが私に銃口を向け発砲した

私は目を閉じた

もうこれが私の運命だって分かってた

だから逆らわずに逝くコトが今の私に出来る罪の償いだと思った

でも痛みは私に襲ってこなかった

目をそつと開いた

「工藤君！？」

私の前に血まみれの工藤君の姿…

私はすぐに救急車を呼ぼうと携帯電話を取り出そうとした

でも

「いいんだ。

灰原…

…死ぬん…なら

ココで…死に…たい。」

と言って私の手をつかんだ

「ダメよ！

死なないで工藤君！！」

「灰原…

最後に1つ…

言わせ…てくれ…。

俺、灰原が…好き…だった…

この…世界中…で1番ッ…愛してる…。」

工藤君は自分の顔に私の顔を近づけてキスをしていた…

そのまま、彼は静かにまぶたを閉じた

「工藤君！？

嫌よ、起きて工藤君！！」

彼は目を覚まさなかった

私たちは組織を破滅させたものの大きい代償を背負って戦いから戻った

工藤新一の死

という大きい代償を背負って

蘭さんは勿論、探偵団の皆、園子さん、和葉さん、小五郎さんが泣いていた…

私はショックで1ヶ月部屋に閉じこもっていた

皆が顔を出して元気付けてくれたけど

立ち直れなかった

『工藤君はどうして私をかばったの!？

あのまま私が死ねばよかったのに!!』

ずっと思っていた…

「灰原…。」

懐かしい声が聞こえる

気のせいだ…

「灰原…。」

でも私を呼んでる

「工藤君？」

恐る恐る顔をあげると工藤君が居た

「灰原、いや、哀…」

もう悲しい顔するな。

俺まで悲しくなっちゃまう…。

俺はずっと天国でお前のコトを見ている

一時も離れないで

だから立ち直れ…

な？」

「工藤君！！

私はダメよ。

私は貴方を殺してしまった…。」

「大丈夫だ…

哀を守りたかっただけなんだ…。

お願いだから立ち直ってくれ。」

工藤君…

「立ち直る…まで見守ってくれる？」

「ああ、勿論…。」

「分かった私立ち直る。

絶対見守っててね？」

工藤君は私の言葉を聴くと安心したのかのように天に昇っていった
消えた

私は立ち直れる

工藤君が一緒なら…

私はそれからショックが和らいできて

今は、宮野志保に戻ってFBIの一員として働いている

今日は彼の命日…

私はお参りをした後…

「今まで、いっぱい、いっぱい有難う…。」

と呟いた…

「オメーをいつでも見守ってるよ…。」

工藤君が私にそういつてくれたかのように風が吹いた…

F
i
n

(後書き)

ダメだし・感想・評価お待ちしております!!

平成22年6/16 Happy & Lucky

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0248m/>

ありがとう...

2011年10月6日22時54分発行